

仙農 Part1 [編集する](#)

2013 年 09 月 29 日 23:31 [友人の友人まで公開](#)

9 view



今回は久々にテント持参。でも例によってなんとか 40 リットルザックでいけないかと、あれこれ試行錯誤


結局、食料を O さんにすべて持ってもらうことを前提でパッキング完了。コンパクトに詰めさえすれば、な
んとかなるもんだね 

さて、今回初めて車で芦安に向かったが、勉強になりました… 

0:45 相模湖駅 

2:00-翌 5:00 甲府昭和 IC 付近のネットカフェ(仮眠) 

5:50 芦安

芦安。7:55 のバスに乗るつもりで早めにつけたと思ったら、650 台の駐車場はほぼ満車。車はバス停に
一番近い駐車場(=第一駐車場)から埋まっていくが、そこは前夜 24 時頃には満車だったそう。朝の 6
時だといちばん遠い第八駐車場まで満車になっていたようで、あとは駐車場へ至る道に路駐するしか
ない。おそろべし、3 連休。。。 

ちなみにおれらは、第四駐車場の近くの草むらに停めるように誘導される。今思えば、これはこれで運が
よかったかも!?

芦安からは 10 人乗りのジャンボタクシー。行列しているものの、次から次へとタクシーがやってくるので、
結局 20 分待ち程度で乗れる。ただ運転が荒くて、寒くて、しかも寝不足のせいか、車酔い。。。 

さらに広河原からのバスも、随時増発便が出ていたので、予定よりも早く北沢峠に到着。普段からもこ

のくらいバスが出ているといいのにね～。(といっても、車酔いが治らないので、北沢峠でOさんにお湯を沸かしてもらい、一休みさせてもらいました。)

5:50-6:40 芦安 🚌

7:30-8:15 広河原 🚌

8:40-9:15 北沢峠

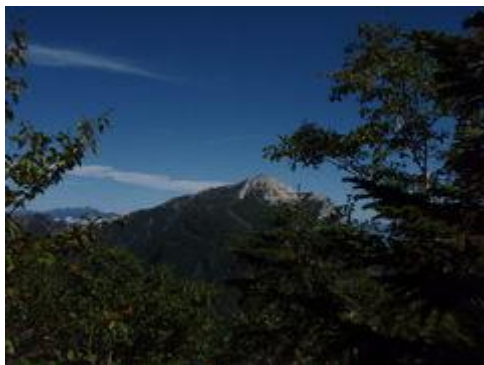
【2013.9.21】

北沢峠～仙丈ヶ岳。

それほど急ではなく、じわじわ系の登り。道中には一合目、二合目…、の看板があり、登る目安にはなる。

とにかく天気がいいので、森の中でも明るい。樹林帯からでもいろんな山が見えるので、気分うきうき。

そしてなんといっても、まず感動したのが、木々の隙間から見たこれ。



かいこまー ✨✨✨✨

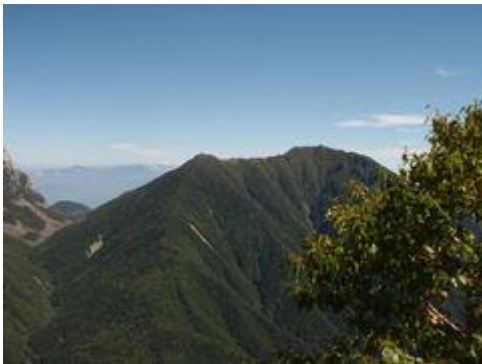
そういえば、去年の今頃も、甲斐駒が頭によぎったものの、悪魔の誘惑(!?)に負けて向かった先は●いこま。●いこまはとても居心地がいい場所だけど、やっぱり白き誇り高き山といえば、甲斐駒だね💡

(というか、これは昔からの持論だが、北岳が男性的な山、仙丈を女性的な山だといわれるならば、甲斐駒は白馬の王子様的な山ではないかと思う💡)

というわけで、森林限界を超えた場所(六合目付近)から再び、



かいこま——!!



こちらは甲斐駒の右側(南側)で、アサヨ峰～鳳凰方面。長い稜線が続いており、いずれはここも歩いてみたいね。



こちらは甲斐駒の左側(北側)で、鋸岳方面。こちらもいつかは!! 🍁



小仙丈ヶ岳への登り。ほんの少しだけ紅葉。



小仙丈ヶ岳から眺めた、大仙丈カール。



八合目から付近から眺めた、小仙丈カール。

そして、振り返って、再び甲斐駒シリーズを。



小仙丈ヶ岳手前から振り返った、すすきとナナカマドとかいこまー!!



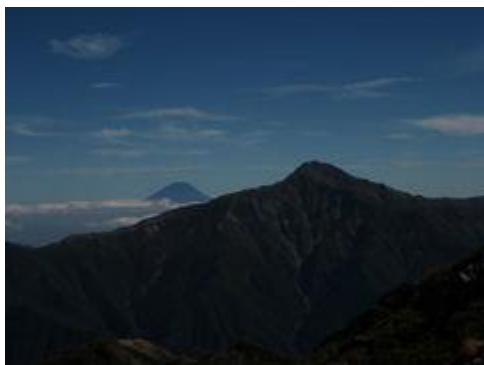
八合目付近から眺めた、かいこまー!!



仙丈ヶ岳からの、かいこまー!!

というわけで、甲斐駒を眺めながら、順調に仙丈ヶ岳山頂に到着🏔️✌️

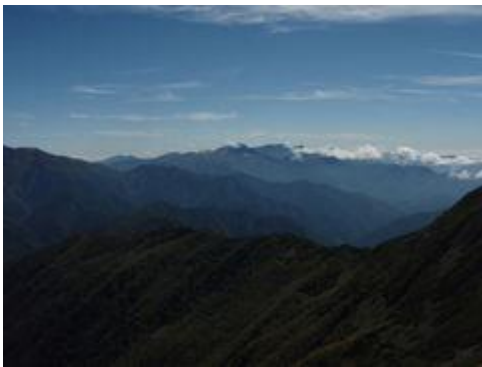
天気がよかったので、もう少しだけ山頂界隈からの写真をどうぞ。



南アといえば北岳 & 富士山!



ウスユキソウ、だったかな。この花大好き🍀



仙塩尾根 & 南ア南部。南アは深いのです。実に深いのです！

さて、実はここまでは長い前置きで…😓

今回の山行のテーマ「仙塩尾根をつなぐぜ」

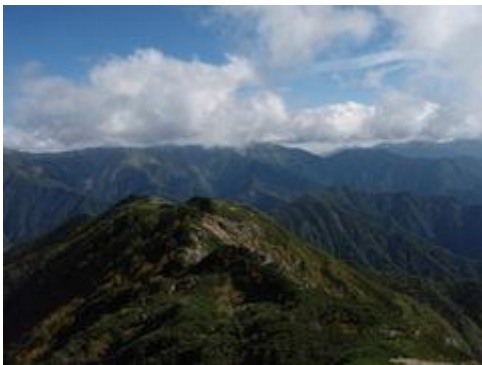
ちょうど 3 年前にも同じことをやろうとしつつ、途中でリタイアしてしまったため、レッツリトライ。ここから長

い稜線歩きが始まります🍷



仙丈ヶ岳山頂より見下ろした、仙塩尾根入口。

仙丈ヶ岳～大仙丈ヶ岳をピストンする登山客はいるようだが(往復 1 時間くらい)、大仙丈ヶ岳から先は、一気に登山客が減り、静かな山歩きが始まる。



大仙丈ヶ岳を過ぎてから 30 分は歩いたであろう所。どんどん下ります。。。



振り返って、大仙丈ヶ岳 & 仙丈ヶ岳。

こうして、どんどん標高が下がり、



やがては樹林帯へ。

仙塩尾根は、原生林が広がると聞いていたが、おそらく長年放置されたままであろう苔の生えた倒木がたくさんあった。しかし、比較的最近にチェーンソーで切断して人が通れるようにされた倒木もあるので、登山道はかなり整備されていると見受けられる。

こんな深い森の中、実は初めて活用してみたのが、これ。



山と高原地図のアプリ💡

携帯の電波が圏外でも、GPSの電波を拾うので、現在地はもちろん、自分が歩いたルートも記録し、さらに歩行時間と距離まで計測してくれるすぐれもの👍 スマホで地図を見るなんて、画面が小さいのだから見にくいに決まってるっ!! と思いこんでいたが、スマホならではの拡大と縮小が自由自在なので、地図上の細かい標高線が拡大できるのが嬉しい。これで一つのエリアで 450 円なので、かなりお得かも🎁

というわけで、何の目印もない樹林帯で、自分がどこまで歩いたかも一発でわかり、これなら道迷いしたときも、あっという間に現在地がわかる。すばらしい✨

と、大絶賛なのだが…

やはり悲しいのは、携帯の電池の消耗が激しいこと。こうなると、今後は予備電源が必要だ。。。(一応、フル充電が 1 回できるバッテリーを持参していたのが、全然足りない…💧)

結局今回は、要所要所で電源を入れ、自分の現在位置を確認する程度の使用にとどめたが、それでもかなり有効的な使い方ができたと思う。

それにしても文明の進化はすごいし、20 年後には紙で広げる地図がなくなってしまうのだろうかね…!?

😓 (でもおれはやっぱり、紙で広げる地図の方が好きですよ。ええ。)

そうこうするうちに、今夜の宿泊場所である高望池に到着。正式なキャンプ場ではないので、あまり大きな声ではいえないが、テントが3~4張はできるスペースがあり、先客もいる。(一応今回は、ビバークという名目で、テントを張らせてもらう。)



高望池。

水場は徒歩2分程度、高望池から少し下った場所に湧き出ている。池の水が土の中からしみだしているのかもしれないけれど、まあまあきれいでした。

こんな静かな森の湖畔で(湖畔というより池畔!?) おやすみなさい。。。🌙

9:15 北沢峠

10:55 五合目

11:10-11:30 六合目(森林限界)

12:05-12:25 小仙丈ヶ岳 (七合目)

13:25-13:45 仙丈ヶ岳

13:55-14:10 休憩(昼寝)

14:30 大仙丈ヶ岳

15:30 2676m 地点

16:30 伊那荒川岳

16:35 高望池

つづく。

仙農 Part2 [編集する](#)

2013 年 09 月 30 日 00:45 [友人の友人まで公開](#)

6 view



(前回のつづき)

【2013.9.22】

朝食を終えテントから出てみると、隣のテント客は、すでに出発済み。彼らは本日は塩見岳付近のキャンプ場跡に向かうと話していた。

実はこれ、かなり羨ましいっっ!! 😞

このキャンプ場跡、おれの中ではトップ3に入るキャンプ場で、いつかまた行きたい場所の一つなのだ。以前(といっても17年前…💧)泊まったときの写真はなく、すべては右脳だけの記憶なのだが、アルプスの少女ハイジに出てくるような草原の斜面の中で、段々畑のような地形の平らな部分にテントを張った覚えがある。(なのでここは、ハイジのテン場と呼んでいる。)

思い出は美化されていくというが、今はいったいどうなのだろうか…。

と、感慨に耽って見たところで。2日目スタート。

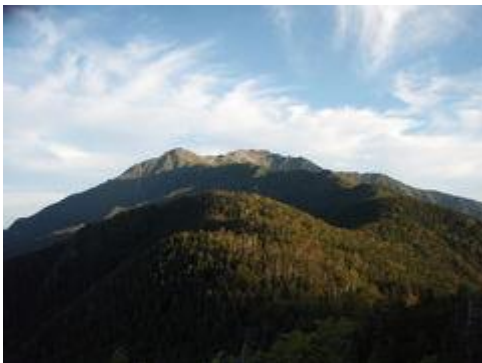
仙塩尾根はアップダウンが多いのだが、突如樹林帯を抜けたここが、今回の山行でいちばん感動したところかも。



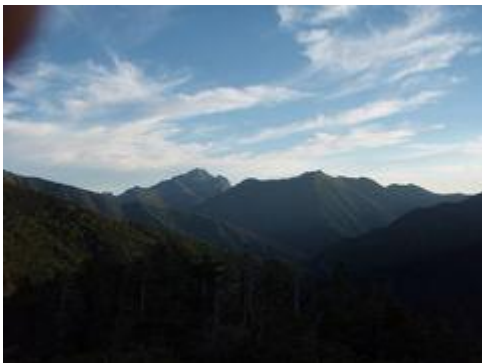
独標。

独標という名の山は至る所にあるが、そのすべてにはずれはないようで、この仙塩尾根の独標も然り👍

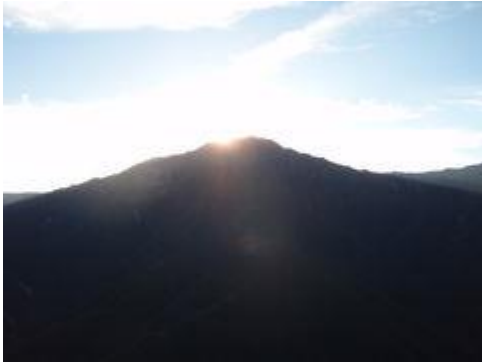
では、360 度、いってみましょう!!



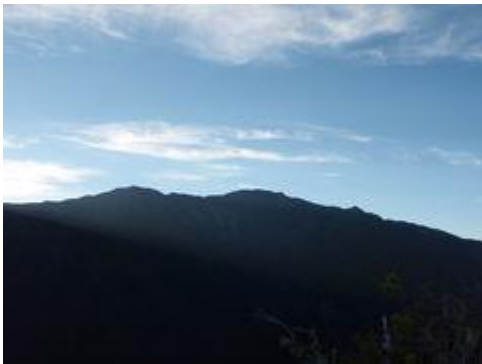
北には、これまで歩いてきた仙塩尾根 & 仙丈!🌄



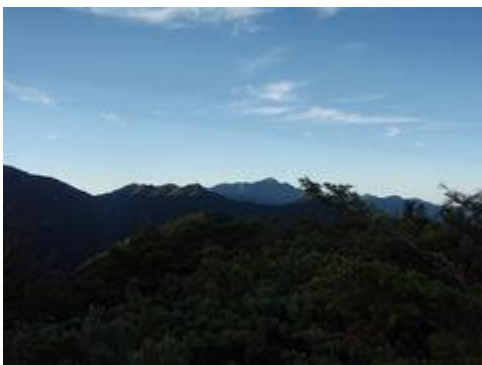
北東には、甲斐駒 & アサヨ峰(早川尾根)! 🌄



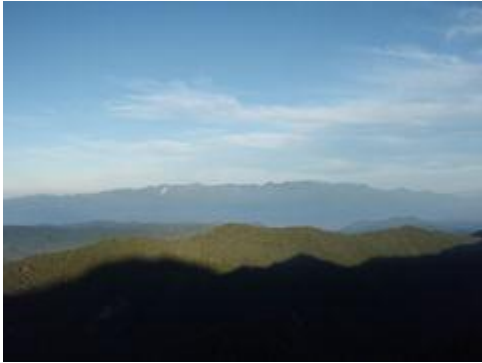
東には、北岳! 🌄 (ご来光も見えそうで、ガスが… 💧)



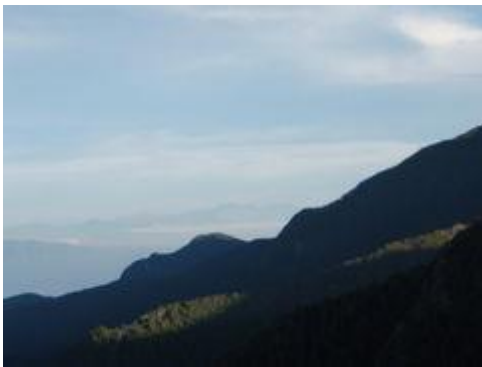
南東には、間ノ岳! 🌄



南には、まだまだ続く仙塩尾根。遠方は塩見! 🌄



西には、中央アルプス! 🌄



北北西には乗鞍、その遠方は槍穂! 🌄

雲一つない青空の下、こんな山々に囲まれて、文句なしっ! ここでたくさん元気もらったところで 📍
📍

再び樹林帯へ。



本日も、倒木たくさん。まあアスレチック感覚で。

そして、見覚えのある、ここ。



野呂川越。

これにて、仙塩尾根がつながりましたー👌

3年前はここから両俣小屋に、後ろ髪を引っ張られる思いで下ったわけだが、あのときがあって、今がある。またここに来て万歳🎉🎉

ちなみに南アの縦走路で考えれば、今のところは「黒戸尾根～甲斐駒～北沢峠～仙丈ヶ岳～仙塩尾根～三伏峠」がつながったことになる。あとは南ア中南部をつなぐぞ!!👊

そしてここから三峰岳までは、長い登りが始まる。三峰岳に近づくほど急登になるが、樹林帯を抜けてからは山頂がとても近く感じるので、頑張れそうな気になれる。

ちなみに昨晚両俣小屋に泊まった登山客が、仙塩尾根に上がってきていたが、特筆すべきはトレイルランナーが多いこと、多いこと…。彼らはスピード重視で突如現れるので、うかうか天然トイレもしてられない。ちっ😅



森林限界を越え始めて、



三峰岳(みぶだけ)へ。少しだけ秋を感じる稜線。



振り返れば、昨日から歩いてきた仙塩尾根。仙丈が遠い…。



三峰岳核心部は急登！でもここを登りきった三峰岳(2999m)から見たものは、



まだまだ続く仙塩尾根(＝熊ノ平方面)。遠方には塩見!! (その途中にハイジのテン場があるのです)

というわけで、仙塩尾根はまだまだ続くのだが、ここで仙塩尾根とはお別れ。次なるピークは、間ノ岳!!

でも、その前に腹ごしらえ🍞(&昼寝💤)。銀マットを広げて靴を脱いで、足を投げ出して、



これを見上げながら、パンを食べてました～。いわゆる間ノ岳方面💡💡

余裕でここが 3000m を越えているのだと思うと、ここを駆け巡るトレイルランナー達は本当にすごいと思う。おれは何だか久々の 3000m のせいか、若干心拍数の速さに苦しさも覚えるが、今更引き返すところもないので、前進あるのみ!!



間ノ岳核心部。草紅葉が映える🌟



3 度目の登頂。日本で 4 番目に高いんだぜ!!(3189m)👌

ここから急に天気は下り坂。といっても降られたわけではないが、ガスの中、先が見えない登山道を、ど
んどん下ること 1 時間。無事に着きました、本日の目的地。



農鳥小屋～🏠

そしてここで、気分が高鳴るといとか、緊張といとか😓

実は、今回の山行のもう一つの目的は、農鳥小屋の噂のオヤジさんに会うことである💡

これまでの噂によると、このオヤジさんは気難しいらしく、また登山客が15時過ぎに小屋に到着しようものなら、山をなんだと思っているんだー、と説教することでも有名。もちろん愛情あつてのお説教なのだが、ネット上ではすこぶる評判が悪い🙄👉

というわけで、実際はどんな人かと思ったら…。

愛想はなく、ぶっきらぼうなしゃべり方だったけど、そこそこの対応はしてもらえた(と思う)。(到着が13:30だったので、お説教の対象にもならなかったが、でもちよつと怒られてみたかった気がする🙄)

テントの受付時は、トークにいったいの無駄がなく、一通りの注意事項は若干命令口調にも聞こえる。だが、それだけ守ればあとは自由にしてよし、といったところだろうか。まあオヤジさんが一人で切り盛りしているのだから、こんな風になるのかな。

ちなみに農鳥小屋は小さな建物が数軒連なっているのだが、そのうちの一つを覗くと、いささかげんなりしている登山客が目につく。この小屋に何か不平があるのだろうか…、まあそこは謎にしておこう🙄

それと、オヤジさんから、青い屋根がトイレだと説明を受けていたが、それは臭いですぐにわかる。実はここも事前に噂では聞いていた、通称「天空の便所」✨✨✨✨

トイレの建物は若干揺れる。ドアには一部穴が開いており、鍵はかからない。そして中はいわゆる垂れ流し方式…🙄

うーん、一つ星… (または星なし…🙄)

しかし、唯一よかったのは水場！ テント場から10分弱は下るのだが(もちろん帰りは15分弱登るのだが)、とてもクリアな水が豊富に出ていた。



この水場だけは、オヤジさんも「豊富できれいな飲み水が湧いている」と堂々と話していただけた。Oさんも、これまでに中でいちばん美味しい水場だと大絶賛。

こうして、農鳥小屋を満喫(!?)したところで、本日はこれにて終了～。

5:50 高望池

6:20—6:30 独標

7:00 横川岳

7:25 野呂川越

8:35—8:45 2575m

10:40—11:25 三峰岳（昼食＆昼寝）

11:35—11:45 Oさん、サングラス探し

12:25—12:35 間ノ岳

13:40 農鳥小屋

まだつづく。

仙農 Part3 [編集する](#)

2013 年 09 月 30 日 02:04 友人の友人まで公開

7 view



(前回のつづき)

【2013.9.23】

本日は、標高差 2000m 以上の長い下りがある。ここを時間をかけてゆっくり下りたいとなれば、早起きするしかない。

というわけで、2:15 起床。ラーメンを作って食べるが、どうも胃がもたれている。久々の 2 泊 3 日山行だからか、かつ 3000m 級のテント泊だからか、うーん…😞

4:00、星空の中出発。月も出ており🌕、山並みのシルエットが幻想的✨

しかし、山頂を見上げれば、ヘッドランプが 3 つほど。先行する登山客はいるのだ。自分たちもがんばるぞ!!👊

と、頭ではわかっているのだが、それにしても元気が出ない。珍しく(!?)、O さんもおれの荷物を持とうか、と気を遣ってくれたが、荷物が重たいせいではない。眠いのか、寒いのか、胃もたれなのか、心臓に負担がかかっているのか、低血圧なのか、自分でもよくわからなかったが、歩けないことはないので、ただただ無言で歩くのみ…😞

それでも前進すれば山頂は待っている。最初のピーク、西農鳥岳に到着した頃には、ようやく
うっすらと夜が明け始め、山頂には先行する登山客 2 名がいた。

女性の声：「すみません、シャッターを押して下さい」

O さん：「いいですよ。はいチーズ」

と、O さんがシャッターを押し、フラッシュが光った瞬間💡

ん!?



錯覚だろうか!?

寝ぼけているのだろうか!?

そして、その二人は O さんに御礼を言ってその場を立ち去ったのだが…。

いや、待てよ。。

えーい、旅の恥はかきすてだ。間違ったっていいんだ。

と思って、その背中に声を投げかける。

「ローン!」

そうなのである、そこにいたのはロンだった。これにて、一瞬にして、目が覚める🤖

何の申し合わせもないのに、聞けば昨晚は同じ場所でテントを張っていて、今朝もほぼ同じ時間に歩き始め、山頂で出会ってしまうこの間柄。アンビリバーボー✨✨✨✨

というわけで、



ロンと、西農鳥岳にて。

(ちなみに、ロン達は昨日広河原から登り、農鳥小屋に到着したのが 16:30 頃。まんまとオヤジさんのお説教をくらったらしい。いいなあ 🤔)

そんなこんなで、ひょんなところでの再会に盛り上がった後、ここから行動をともにする。

空も明るくなってきたところで、ここからは、ロン、ww、Y さん、O さんの順で歩いたのだが、まず笑えたのが、見よ、このロンの背中。



ちょっとピンボケですが、わかります？

なんとザックに「雲の上まで歩いてみよう」をプリントしてしまったのである。雲 T ならぬ、雲ザックといったところか。あっぱれ… 🤔

そして、気持ちの良い早朝の稜線歩きは続き、



農鳥岳に到着したときに、



ドンびしゃで御来光 🌅 もう最高です 🏔️



富士山も、でかつ!👀👀



そして、みんなで



雲 T。(O さん、雲ザックがあってよかったね!!👍)



逆光も、すばらしい!!👍

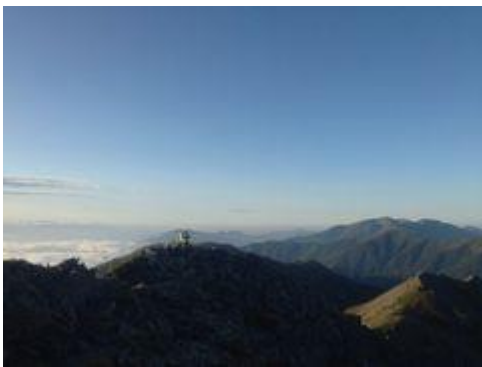
と、山頂をたっぷり堪能したところで、



さらに気持ちのよい稜線。本日下るのが、本当にもったいない。



雲ひとつない青空に、みんなで見上げるのは白い月🌕



稜線に溶け込んだ、の図😌



大門沢下降点。鐘はもちろん鳴らしましたぜ🔔



やっぱりまぶしい、青空 🙄



振り返って見た、農鳥岳。

ものすごく後ろ髪が引かれる思いなのだが、バスの時間もあり、のんびりはしてられない。
また逢おう、南アルプス!! 🙄



雲の下まで、帰ってみよう…。

下山は前述のとおり標高差が 2000m 以上あるのだが、終始しゃべりながらだったので、わりとテンポよく下ることができた。ロンと同行していた Y さんも、練習なしでウルトラマラソンに出場してしまうという、とってもパワフルな方。山を初めてからはまだ 2、3 年くらいらしいが、なんだか余裕を感じる。そしてトークも愚痴も、おもしろい 🍗

やがて沢の音が聞こえてくる。



あっという間に 1000m くらい下った場所から、農鳥方面を見上げる。下りてきちゃったねえ。。。

その後もどんどん下り、大門沢小屋にてコーヒープレイク🍵 この小屋はこの尾根のほぼ中間点にあり、登山客にとってはかなりありがたい立地だ。しかも沢の近くだからか、シャワーまで完備されていた。(ちなみにトイレに寄るが、うーん、一つ星…🤔)

さらに下りは続く。特に沢を何度も横切るのだが、



近代的な吊り橋から、



いつ流されてもおかしくなさそうな丸太橋まで、本当にたくさん。でもこれだけ整備されているのだから、やはりこのルートを歩く人は多いに違いない。



こちらは八丁坂。尾根からはずれたんじゃないかと思うくらい傾斜のある場所も出てくる。でも、気がつけば、



何度出てきたかわからない大きな吊り橋を渡り終え、無事に下りきれたようだ。そして最後は、



林道歩きとなり、無事にゲートに到着。バスの時間にも無事に間に合った👌

ここから O さんとおれはここから広河原行きのバスに乗るが、ロン達はさらに奈良田まで歩き、身延方面のバスに乗るため、ここでお別れ。それにしても、偶然すぎるとはいえ、楽しい山行をどうもありがとう!!

4:00 農鳥小屋
5:00-5:05 西農鳥岳
5:40-6:10 農鳥岳
6:50-7:00 下降点
8:50-9:00 丸太橋
9:15-9:45 大門沢小屋
11:00 八丁坂
11:50-12:00 最終吊り橋
12:35 ゲート(奈良田第一発電所)

その後、広河原経由で芦安に戻り🚌、第四駐車場のそばにあったこちらに立ち寄る。

 金山沢温泉 (¥700)

こじんまり、といった感じ。

でも客はひっきりなしにやってきていた。

露天はなにげに熱かったかな。

帰りはすき家で腹ごしらえした後、下道で帰る。高速の渋滞がひどいと聞いていたが、国道 20 号も半端ない。結局おれは大月駅で落としてもらい、ここから電車で帰宅し、21:30 に自宅に到着。他方、O さんの帰宅は 23:30 だったらしい。車の恐ろしさはこれだね。。

というわけで、今回は3連休を朝から晩までフル活用した山行でした。今年いちばんの大きな山行だったかな。そして南アルプスに上れたことも嬉しいし。(そして、ロンと一緒にだったおかげで、久々に自分が写っている画像も残りました📷 ありがとう!)

ああ、そんなこんなで、山屋万歳。

